

第43回全国町並みゼミ 桜川市真壁大会

茨城県桜川市真壁町

ライブ配信



開催日時 2020年11月22日(日)
13:00~18:30

開催場所 石塚邸 茨城県桜川市真壁町真壁198-53 (災害復旧した建造物)

これからの町並み保存とは？ たび重なる災害からの復旧と、新しい生活様式の中で

プログラム



YouTube

- 【1 開会セレモニー】 桜川市長あいさつ、全国町並み保存連盟理事長あいさつ 大会会長あいさつ 13:00
- 【2 基調講演】 河東義之先生 (国立小山高専名誉教授) 13:15
テーマ「桜川市真壁の震災被害と復旧一課題と展望」
- 【3 真壁の町並み紹介】 案内ボランティアによる事前収録 14:15
- 【4 パネルディスカッション】 コーディネーター：藤川昌樹先生 (筑波大学教授) 15:15
パネラー：行政担当者、建築士、住民代表、ディスカバーまかべ



ZOOM

- 【5 閉会セレモニー】 16:30
- 【6 各地からの報告】
- 【7 懇親会】 18:30 終了



ライブ配信 ※裏面参照



Before



After

問合せ先

ディスカバーまかべ

TEL 0296-54-1038

FAX 0296-55-2061

E-mail xm@p-cafe.net

*Facebook、YouTubeあります



Before



After



Before



After

主催 第43回全国町並みゼミ桜川市真壁大会実行委員会

共催 NPO法人全国町並み保存連盟

後援

茨城県、桜川市、桜川市教育委員会、桜川市観光協会
ヘリマネイばらき協議会、茨城新聞社ほか

第43回全国町並みゼミ桜川市真壁大会

ごあいさつ

第43回全国町並みゼミが、桜川市真壁で開催される事になりましたが、ここまでには様々な事がありました。3年前、全国より300名程が参集し、全国伝統的建造物群保存地区協議会の総会が真壁で行われましたが、非常に好評でした。この件が真壁で全国町並みゼミをという流れを作ってきたのでしょうか。しかし、私たちの会、「ディスカバーまかべ」は会員数20名弱の弱小団体であり、その様な話があってもまず無理であろうという状況でした。ある時この件を市長に話したところ、「よし、やろう！いくら補助金はあるんだ」ということになり、関係団体とも話し合いを行い、決定したのが前回の川越大会の1日目の夜中でした。2日目の閉会セレモニー時に次回開催地として登壇しましたが、連盟旗が大変重く感じました。

真壁に帰り、関係団体、行政とも話し合い、日程、場所、交流会の場所等々7割方決定したのが、中国武漢発生し瞬間に地球規模で感染拡大の新型コロナウイルスにより、一時は全国ゼミは中止と決定しました。しかし、ゼミの素晴らしさ、楽しさを身を以て分かっている仲間たちと再度協議を重ね、WEB上での開催ということになりました。

本来なら、皆様に真壁に来て頂き、真壁の姿を見て、感じてもらい、侃侃諤諤、口角泡を飛ばして交流会を行う事が夢であったのですが、、、果たしてWEB上で真壁を発信できるのか、交流できるのか、満足できるのか。コロナ禍の中で、多くの制約がありここまで漕ぎ着けました。

この様な新しい方法での町並みゼミ、ご期待ください。ご参加をお待ちしております。それから、このコロナが収束したら、是非とも真壁においでください。お待ちしております。

実行委員長 吾妻 周一
(ディスカバーまかべ会長)

まかべ町へようこそ

筑波連山を東に望む桜川市真壁町は、古い歴史と豊かな自然景観に恵まれた小さな町です。中世の真壁城跡(国指定史跡)の西側に形成された集落がその起源で、江戸時代初期に浅野氏の城下町として整備されました。当時の町割り、約400年を経た現在でもほとんど変わっていません。

その後、浅野氏は笠間に移り、真壁町は笠間藩領の在郷町となります。江戸時代を通じて、さらに明治期以降も、真壁町を発展させたのは商人や農民たちでした。今なお真壁町には、彼らの手になる伝統的な建造物が数多く残され、在郷町真壁の歴史的景観を特徴づけています。その中でも特に目に付くのは、江戸の形式を導入した見世蔵をはじめ、伝統的な木造の町家や土蔵、そして、江戸時代の民家にはほとんど見られなかった薬匠門や長屋門、高麗門などの本格的な門の多さです。江戸時代末期から昭和初期にかけて建設されたこれらの伝統的建造物は、平成11年から次々に国の有形文化財に登録され、その数は100棟に達しています。また、かつての陣屋跡を中心とする約17.6ヘクタールが伝統的建造物群保存地区(伝建地区)に設定され、平成22年には全国的に重要な伝建地区(重伝建)として国の選定を受けました。翌年の東日本大震災では伝統的建造物の多くが罹災しましたが、国や県の手厚い援助と住民の熱意によって復旧を遂げました。それらを活かしたまちづくりが今後の課題です。

真壁町は、新旧二つの祭りでも知られています。早春に開催される「真壁のひなまつり」は、町に来られた皆様をもてなそうと住民の発案によって平成15年から始まったものです。一方、盛夏に開催される「真壁祇園祭」は約400年の歴史を持ち、文化庁の選択無形文化財(記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財)にもなっています。どちらも住民主体の華やかな祭りで、在郷町真壁の貴重な風物詩です。

小山高専名誉教授
桜川市伝建地区保存審議会会長 河東 義之

寄付のお願い

大会参加登録費は無料ですが、運営を円滑に行うために寄付をお願いします。

お礼の品として、真壁ならではの逸品(お酒・食品)を贈ります。是非とも懇親会で味わってください。



個人会員
5,000円/一口

団体会員
8,000円/一口

寄付をご希望の方は11月3日までに、大会事務局 田中宣寛まで
E-mail nobu-t@mta.biglobe.ne.jp
FAX 0296-55-0755

2020.11.22 13:00~18:30



ライブ配信について

※お願い※ 団体加入の方はなるべく集合してご視聴ください



YouTube

でのライブ配信について(13:00~プログラム【1】~【4】配信)

右記の【QRコード】を読み取るか、または下記の【URL】を入力してご視聴ください。事前にチャンネル登録をしていただくと、案内の通知が届きます。是非、『ディスカバーまかべ』のチャンネル登録をお願いいたします。

【URL】https://www.youtube.com/channel/UC87_JOT0wDx9dgdYMS4GGQw/featured?view_as=subscriber



ZOOM

でのリモートライブ配信について(16:30~プログラム【5】~【7】配信)

参加希望者は『全国町並み保存連盟事務局 (matinami@pop02.odn.ne.jp)』にて事前登録してください。